



Tokyo Gakugei University Repository

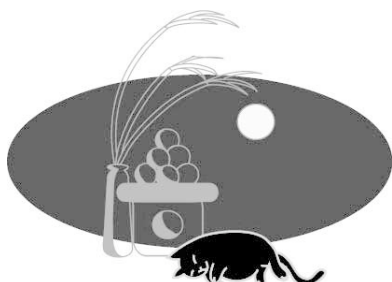
東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	図書館ニュース vol.32, no.2
Author(s)	東京学芸大学附属図書館
Citation	
Issue Date	2003-10-00
URL	http://hdl.handle.net/2309/60014
Publisher	東京学芸大学附属図書館
Rights	

図書館ニュース

Vol.32, No.2 (2003.10)



図書館長屋の夜は更けて

成田 健一

ここは学大近くのとある長屋の下宿。いつものように八兵衛、菊五郎が夜中に話し込んでいます。

八兵衛(以下、八) なぁ、卒論どうする?

菊五郎(以下、菊) さぁ、どうだろうね。図書館にまず行く、ってのは?

八 図書館!? よせよ、図書館なんざ何しに行くんだ? 本でも読もうってのか?

菊 何、馬鹿言ってるんだい! いいかい、図書館ってのはたと本があるんだ。本だけじゃないよ。CD、VideoにDVD、パソコンでも何でもあるよ。卒論のネタもあるにちげえねえよ。それに図書館の人はみんな物知りなんだから、お前さんが無い知恵絞るよりも、よっぽどいい卒論のネタを教えてくれるんじゃないか? 『生きがなくて、先生やみんなが「なるほど」というようなネタをお願いします』って頼んでみなよ!

八 ...そ、そうか。へへっ...じ、じゃさっそく行って来るよ。

菊 ちょっと待ちなよ、もう夜中の12時だよ、明日にしま!

ご隠居(以下、隠) おいおい、この夜中に何を騒いでいるんだい?

菊 これはご隠居。八が、こんな時間に卒論のネタ探しに図書館に行くって...

隠 おやおや、もうそんな時期かい。おっと、時に図書館はたった今もやってるよ。

八・菊 ご冗談! この夜中はやってねえでしょう?!

隠 ほれ、これを使いなよ。

ご隠居は慣れた手つきでパソコンのブラウザ(インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲータ)をたちあげ、ちょちょちょいと <http://library.u-gakugei.ac.jp/> にアクセスしました。

目次

図書館長屋の夜は更けて(成田健一).....	1
附属図書館の事業計画について(附属図書館事務部長 早瀬均)	3
Bibliofile42: 教育実践データベース(後藤貴裕)	5
平成15年度附属図書館所蔵資料展示会・講演会のお知らせ	6
カウンターから見た図書館	7
お役立ち情報: 海外からの文献取り寄せについて - GIF(グローバルILL フレームワーク)のご紹介 - ,お知らせコーナー	8
平成15年度後期図書館暦(10月~3月).....	12

隠 ほれ、図書館じゃ。うちの図書館は土日等、休みの日も開館してるがの、インターネットでは24時間、年中無休じゃ。無論メンテの日は別じゃ。

八・菊 なんだネットですか？ どうせ、たいしたことではできねえんでしょ。

隠 何を言っとる。これをこうして...本・雑誌を探す時は、まずここじゃ (<http://library.u-gakugei.ac.jp/opac.html>)、ここをたどるとたいていは探せるぞ。学大内の本はここだ (<http://library.u-gakugei.ac.jp/cgi-bin/limedio/limewwwopac/>)、便利かどうか知らんがの、携帯でも検索できるぞ (<http://library.u-gakugei.ac.jp/is-index-i.html>)。

八・菊 なんか便利そうですね。でも、せっかくお金をかけてるんだったら、もっと若い時分から、図書館で「何ができるのか」を教えてくださいよなあ。

隠 まあまあ、そう言うな。必要になった時に初めて気がつくものじゃよ。さて、雑誌の文献を探したい時はここ (<http://opac.ndl.go.jp/index.html>) から、「雑誌記事索引の検索/申し込み」をクリックじゃ。教育関係かい？ それだともこもいいぞ (<http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/>)。本や雑誌だけじゃなくて、いろんなものが探せるんじゃ。ともかくいろんな本を調べたい時にはここじゃ (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)。ほれ、この長屋に居ながらにして、結構できるぞ。そう、ネタはいろいろと工夫をして探すことが大事じゃ。その探し方のプロセスにこそ学問の醍醐味が...

ご隠居は教えるのが大好き。説明は良いのですが、夜も更けてきますし、二人はもう大あくび。

隠 おやおや、もう今日はダメじゃな。明日、図書館に直接行ってこい。何々、横文字も？ では、ここじゃ (<http://library.u-gakugei.ac.jp/lbhome/db/>)。いろんなデータベースがあるぞ。ただし「学内限定 (IP アドレス認証)」と書いてあるものは大学内からのアクセスでないと使えないぞ。わかったな!

さて翌朝。八兵衛は心がけよく、9時頃には図書館へとやって参ります。

八 おはよっす! ごめんください!! 図書館の方~、どなたか、いますかあっ!!

図書館員 (以下、図) え? 血相変えて...どうしました?

八 実はお願い事がございまして! ええと、生きが良くて、先生やみんなが「なるほど」というようなネタを教えてください。お願いしますっ!

図 そりゃ、無理ですよ。その代わりに探し方ならお教えできますよ。

八 ええ? 探し方?!

図書館 (2Fの参考調査係)の方は文献の探し方や図書館の使い方に関する講習会を紹介してくれました。図書館はこうした探し方の講習会をしばしば行っているようです。

八 え、ネタじゃなくて、探し方ですか...でも、講習会なんて、聞いたことないですよ。もっと宣伝してくれなきゃ。

図 だからこうやって落語のまねごとまでして...ゴホン、ともかく、情報は自分から求めないと得られないんですよ。そもそも目的をはっきりさせないと探すこともできませんよ。そしてその探し方のプロセスにこそ学問の醍醐味が...

八 どっかで聞いたなあ...そのセリフ。でも講習会たって、1回こっきりでしょ。もっと定期的にやってほしいんだよなあ。うちの大学の実情に応じたマニュアルもほしいし。東大附属図書館なんてほら (<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/manual/index.html>) マニュアルはあるし、レジメまでPDFでありますよ。そうそう、学生の専攻やレベル別に講習会は無いんですかあ? それに、うちの大学は、学生の書庫利用がしにくいし、各学科・研究室の図書はいつでも利用できるのかよくわかんないし...

図 いえいえ、ほら (<http://library.u-gakugei.ac.jp/seminar/seminar.html>)、マニュアルもありますし、講習会も何度も開かれていますよ。今秋からは書庫も利用しやすくなりますし、そうそう、うちの学生証で近隣の国立4大学の図書館利用もできますよ。それに...ともかく、いろいろできますよ。

...と、かみ合っているのかいないのか、よくわからない会話が交わされております。図書館には図書館の都合というものもございませぬ。しかし、利用者

あつての図書館です。使いやすいように声をあげていくことも大事でしょう。とにかくにも図書館を使わない手はごさいますまい。八兵衛もいろいろと文献検索に精を出しているようです。

菊 おう、久しぶり。どうだい卒論は？

八 いろいろと調べて、ようやく使い物になりそうなネタを見つけたよ。

菊 ほう、そうかい。それは良かったなあ。

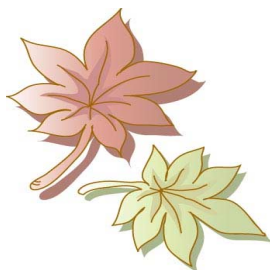
手に手を取って喜んでいる二人です。そこへご隠居が...

隠 二人とも、何やってんだい？ 今年の卒論は、もう切過ぎちまったよ!!

お後がよろしいようで。

[後記] このお話は、図書館利用に関して、筆者のまわりの学生・院生にインタビューして作成しました。それをまとめていただいた大学院の川崎陽子さんにはこの場を借りて御礼申し上げます。落語の形をとっていますが、言いたいことは一つだけです。切までの限られた時間の中で、やりたいこと、おもしろいことを自分なりに探してみましょ。その過程こそが大事だと思うのです。学芸大の図書館と図書館員の方々はきっと皆さんをアシストしてくれるでしょう! 図書そのものだけではなく、様々な情報も発信されています。まずは、<http://library.ugakugei.ac.jp/> に!!

(なりた・けんいち 教育心理学研究室)



附属図書館の事業計画について

早瀬 均

附属図書館では、本年3月に『東京学芸大学附属図書館の現状と課題』と題する報告書を刊行した。その意図は、現在図書館が抱える問題点を具体的に挙げて、解決すべき課題を明らかにし、本学構成員の方々の協力を得つつ、課題の解決に取り組むことである。実際には、報告書に掲げた課題についてそれぞれ実施計画を立てた上で、毎年の事業計画の中に含めていくことにしている。特に従来から要望があり、緊急に改善が望まれる事項については、緊急改善事項として、本年度の事業計画に含めた。本年度の事業計画は、ホームページでもご覧いただけるようになっているが、その幾つかの事項について以下に紹介したい。

学術情報・資料の整備

1) 学術研究コンテンツの整備

電子ジャーナルを中心とする学術研究コンテンツの拡大は、言語や学問分野によって進展の度合いに差があるものの、着実に進んでいる。最近の学協会出版者協会(ALPSP* 1)が行った調査では、149の出版社が出版する学術雑誌の75%がオンラインで提供されており、自然科学、工学、医学分野の雑誌では82%、人文社会科学分野でも72%に上っているとのことであ

る。本学でも一昨年度から電子ジャーナルの導入を進めており、現在約3,000タイトルの電子ジャーナルが利用できるようになっている。(<http://library.ugakugei.ac.jp/lbhome/ejournal/index.html>) しかし、これを購読中の外国雑誌でみると、2003年の外国雑誌の購読タイトル数は、重複を除く純タイトルで864タイトルあり、このうち、342タイトルが現在電子ジャーナルで利用できるが、そのほかにも電子ジャーナルが提供されているタイトルが237タイトルある。主要な出版社の電子ジャーナルの価格モデルは、購読額維持を条件とするものが多く、雑誌の購入が各研究室で判断されている限りは、電子ジャーナルの安定的な導入が図れない。未導入の電子ジャーナルの導入を図ることとともに、財源のあり方も含めた整備方策の策定が課題である。また、文献を検索するためのデータベースについても電子ジャーナルと関連した新しい機能が追加されている。電子ジャーナルあるいはfull-textとのリンク機能である。強力な検索機能が電子ジャーナルとリンクすることによって、効率的な文献探索となり、また電子ジャーナルの利用促進につながる。導入データベースもこのような機能を念頭においた見直しが必要と考えている。

2) 学生用図書の整備

学術雑誌の電子化は急速に進んでいるが、単行書については印刷形態での出版が殆どであり、しかも毎年出版点数は増加し続けている。一方、本学が購入する図書の冊数は毎年減少し、特に図書館配架分の減少が著しい。利用者からも新刊書の整備と迅速な提供について要望がある。資料費の配分方法や選書方法、選書時期の迅速化について改善を行う。

利用者サービスの改善

1) 利用時間の拡大

開館時間は、下表のとおりである。利用者から種々の要望がでており、図書館としても、わかりやすい開館時間の体系にしたいと考えている。

	平日	土・日・祝日
授業期	9:00-22:00	10:30-16:30
休業期	9:00-17:00	閉館
休館	整理日(毎月最終水曜日) 年末年始(12/26-1/5) その他	

今年の後期からは、毎月最終水曜日に設定していた整理日の廃止と年末年始の休館日の短縮を実施する。

2) 学部学生の書庫入庫

従来から要望の強かった学部学生の書庫への入庫について、手続きの簡素化と学部学生全体が入庫できるようにする。すなわち、これまで3年生以上の学生について、指導教官の記名・捺印のある申請書によって、入庫を許可してきたが、後期からこれを廃止するとともに、1, 2年生についても入庫ができるようになる。但し、書庫内はすべて電動式集密書架であることから、その操作方法等書庫資料の利用についての講習を受講することが条件である。現在1階及び2階の開架閲覧室には約11万冊が配架されているが、書庫には34万冊の図書があり、学部学生が接架可能となる資料は大幅に増加することになる。

3) 研究室図書を含む資料の全学共同利用

本学で一番の課題は、研究室配架図書を含む全学の図書館資料の共同利用であろう。これを確立するためには、研究室図書の整理方法や貸出方法、検索手段等について、システムとルールの両側面から改善や整備が必要である。本年度は、改善計画全般と実施スケジュールの策定を行う。

情報化の推進

1) 紀要 full-text の追加

昨年度の紀要出版委員会において、東京学芸大学紀要掲載の記事について著者の希望により全文をインターネットで公開することが了承された。インターネットで公開することは、それだけで読者の拡大につながり、本学の研究成果の情報発信にもつながる。第55集の第4部門収録の記事から full-text にアクセスすることができる。(E-TOPIA <http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/> の論文・研究報告検索からアクセス可)

2) 横断目録検索の拡張及びオンラインによる各種申請
図書館システムの機能拡張により、インターネットで公開されている他機関の目録システムとの横断検索が可能となる。例えば、米国の議会図書館や英国図書館、国際的な相互貸借プロジェクト参加の米国大学図書館の目録等が一回検索語を指定するだけで、同時に検索できる。また、ホームページからの図書購入申し込み、貸出状況照会及び予約申し込み、相互貸借(文献複写及び現物貸借)申し込みサービスを開始している。

3) 教育実践情報データベース

教員養成系大学としての特色あるデータベースとして構築されてきた教育実践記録のデータベースがE-TOPIAから利用できるようになった。当面各記録へのアクセスはメニュー方式によるが、今後キーワード検索等の機能拡張を図ることとしている。

注：* 1 Association of Learned and Professional Society Publishers

(はやせ・ひとし 附属図書館事務部長)

本学卒業生、現職教員の方への 図書の館外貸出を開始しました!

平成15年4月から、本学学部卒業生・大学院修了者、現職教員の方への図書の館外貸出を実施しています。[貸出冊数6冊、貸出期間2週間]

本人であることを証明できる書類(卒業生)、所属学校の身分証明書(現職教員) 現住所を証明できる書類

以上をお持ちください。平日17時までには図書館利用証を申請されれば、その日から貸出できます。

問い合わせ先：閲覧係(内線7225)

BIBLIOFILE 42

教育実践データベース

- 教育実践情報の共有とその手段 -

後藤 貴裕

1 教育情報の共有と教育実践データベース

初中等教育の学校現場にも情報インフラの整備が進むにつれ、授業展開や指導法そのものに情報メディアが活用されるだけでなく、教育情報についても各種情報メディアを介して共有されるようになっており、これまで学校内や教科研究会レベルでの流通が主であった授業案や教材のアイデアが学校や組織をこえて個人レベルで流通するようになった。

こうした時代背景のなか、本学においても教育実践事例をデータベース化して広く共有することの必要性を考慮し、教育実践事例に関するデータベースの構築作業を進めている。

ここでは教育情報データベースに関する研究を行い、本学附属学校園の教育実践データを記録・保存・公開し、教育実践研究の推進を目的としている。また、公立学校および社会教育施設における先進的な教育実践のデータも集録しており、初中等教育における広い領域の教育実践情報をカバーしている。さらに、美術館など学外施設と連携した学習活動の展開など未知の授業展開のヒントがちりばめられており、教育にたずさわるあらゆる方にとって参考になると考えられる。

本データベースの構成は、ただの学習指導案集にとどまらず、生徒の学習活動や議論の様子まで記録された実践事例もあり、実践にともなう生徒の反応や教育効果まで忠実に記録された教育研究の資料に値する実践事例も多く含まれる。

現在は本学附属図書館のWebページの教育系電子情報ナビゲーションシステム「E-TOPIA」計画(URL (http://diep.u-gakugei.ac.jp) に付設する形で運用されており、他の情報やデータベースとあわせて有機的に活用することが可能である。

2 構成内容とその特色(教育の今日的課題への対応)

本データベースには、本学の13校園ある附属学

教育実践データベース (URL <http://diep.u-gakugei.ac.jp/>)



校園の実践を中心に集録されており、初中等教育における全ての学校種の実践が網羅されている。

また、新しいカリキュラムにも十分に対応した内容となっており、「総合的な学習の時間」や、高等学校の新教科「情報」に関する実践事例など、教育における今日的課題にも応える内容構成となっている。

こうした最新のトピックに対応した実践情報の多くは、各附属学校園で独自に取り組んでいる研究や文部科学省等からの指定を受けて実施しているカリキュラム研究開発など、恒常的に行われている教育研究の成果がもとになっており、今日の教育界の動向を先取りした実践事例となっている。

ここにある新しいカリキュラムに関する情報は、ただの授業展開やアイデアだけでなく、実践するにあたっての問題点やそれらに対する具体的な方策なども含まれている。例えば本学附属高等学校(世田谷)の新教科「情報」に関する実践事例では、文部科学省教育課程研究指定校「情報化に対応した教育課程の編成とその実践」などの教育研究を通して、先行して実施した授業の成果を17の具体的な学習指導案として提供しており、さらに「『情報』授業の実践に必要な人的環境の整備」では、この授業を教科を越えたチームティーチングで実践した事例をもとに、その成果とその運用に関する問題点など具体的に記されている。また、将来の本格実施に際して想定される一般的課題に対する具体的な提案も記されている。

こうした情報は、教育現場の第一線で奮闘している教員だけでなく、より良い教育環境を築くことに奮闘されている教育行政を担う方々にも有益な情報になると考えられる。

3 利用者のニーズに応じた活用法

さまざまなアプローチのしかたでまとめられた本データベースの情報は、基になった実践を忠実に記録した具体的な情報で構成されており、日々の授業の中で活用したり、教材のアイデアのヒントとして用いるなど児童・生徒の実態や教室環境や地域性に応じて適宜活用するなど、利用者の判断に基づいて利用されることを前提としている。

その他、新しい授業スタイルや学習方法を試みる際に参考書的な利用も考えられる。例えば、新しいメディアや機器を活用する際、それらを利用した実践事例からどのような点を注意したらよいか、それらにはどのような特徴・メリットがあるのかを予め具体的な展開事例を参考にすることで授業計画に反映させることができる。

インターネットのような近年普及したメディアの活用に関しても、教科の学習指導において主体的にネットワーク社会に働きかける実践事例として「ネットワークを利用した英語1と国際理解の授業実践」や「ネットワークアンケート」などの事例があり、授業展開の情報だけでなくメディア活用の意義や工夫・注意点なども参考とすることができる。

また教育実習生や初任者による活用も考えられる。初めて実践的な授業を計画し実践することになる教育実習生にとっては、クラスに対応した柔軟な授業スタイルをとることが困難な場合が多く、より多くの授業実践事例を研究し、授業スタイルの手本を参

照することも大切であろう。附属学校におけるあらゆるケースに対応したスタイルの実践事例が混在するデータベースは、こうした場面でも有効であると考えられる。

4 最後に

現段階では、このデータベースは、教育実践情報を一方的に提示したに過ぎない。インターネットをはじめとした今日の情報メディアは、従来のメディアと比較して、双方向性と即時性が、その特徴としてあげられるように、この教育実践情報も今ある情報をただ閲覧するだけでなく、今後はさらに個人レベルで有益な情報を共有することが求められるであろう。

また、こうした事例データベースは、概して成功事例を共有する機会が多いが、失敗事例を予め知り、失敗に学ぶニーズもあると考えられる。教育情報の流通にコンピュータネットワークというフィルタがかかるこのようなデータベースでは、公表し難い失敗事例も比較的抵抗感なく流通できるのではないかと考えられる。産業界には、失敗事例データベースなるものが存在する現状を考えると、児童・生徒といった人間を対象とする失敗の許されない教育活動においても、失敗という負の側面のデータも共有できる環境が整うことで、さらに違った価値観を持った教育実践データベースとなることが期待される。

(ごとう・たかひろ 附属高等学校大泉校舎教諭)

平成 15 年度附属図書館所蔵資料展示会・講演会のお知らせ

附属図書館では、次のように所蔵資料の展示会及び講演会を開催します。

資料展示会は、当館が所蔵する貴重なコレクションであり、近世・近代における教育資料としての意味を持つ往来物や双六の展示を行います。今回は、国内に現存する唯一あるいは数点のみの貴重な資料や、江戸情緒あふれるカラフルな絵双六も展示します。

講演会は日本近世史・地域史がご専門の、本学歴史学研究室の大石学教授から、江戸の文化と教育に関する講演をしていただきます。

多数の皆様の御来館をお待ちしています。

問い合わせ先：情報サービス課（内線 7222）

資料展示会・講演会案内ページ

(<http://library.u-gakugei.ac.jp/notice/20030924.html>)

< 資料展示会 >

テーマ 江戸時代の教科書 - 往来物展
 会 期 平成15年10月30日(木)~11月4日(火)
 平 日 9:00~17:00
 土日祝日 10:30~16:30
 会 場 附属図書館1階玄関ホール右側閲覧室

< 講演会 >

テーマ 「江戸の文化と教育」
 講 師 大石学教授 東京学芸大学教育学部人文科学科歴史学研究室)

NHK金曜時代劇『蝉しぐれ』等の時代考証を担当されています。

日 時 平成15年10月30日(木)14:00~15:30
 会 場 附属図書館3階視聴覚ホール



カウンターから見た図書館

私と図書館

村上 航

私が図書館を積極的に活用するようになったのは、学部での3年生頃からであったように思います。自分が関心を持っている問題の文献を求めて図書館を訪れ、それから今日まで幾つかの文献を手にしてきました。また統計資料のような調査報告書を利用するため、二階の参考資料コーナーを、さらには書庫に所蔵されているものまで利用させてもらっております。大学院へと進学し、新たに電子ジャーナルを利用させて頂いています。以前からあるものですが、自分の関心領域である社会学関係の外国語文献を探す上で、資料を活用出来る幅を広げることが出来そうです。

皆様は最近の図書館の変化にお気付きでしょうか。入ってすぐの絨毯やシャンデリアといったものばかりでなく、図書館ホームページからの検索システムにも変更がありました。私の利用頻度からいって一番大きな変更点は、個人の利用状況がWebOPACから確認出来るようになったことと、そこから資料の予約が可能になったことです。自宅のパソコンから諸処の作

業が出来るようになったため、時間を有効に使えるようになったと思います。

次に指定図書の検索が詳細になったことです。以前指定図書はOPACの検索結果では単に指定図書と表示されるだけでしたが、現在は指定図書検索からどの先生が指定図書とされているかを調べることが出来るようになり、図書の検索が簡単になった上に先生方の関心領域を意外な形で知ることが出来るようになりました。

図書館の様々な面が私たちが扱いやすいように変わってきています。職員の方々には資料を探す上での疑問に答えてくださったり、アドバイスをいただいたりとお世話になりっぱなしのように思います。図書館では資料の探し方のオリエンテーションも開かれています。利用者としての私たちは基本的な利用の仕方を学び、積極的な利用が出来るよう図書館に歩み寄っていくことが必要なのではないかと思えます。

(むらかみ・わたる 大学院社会科教育専攻1年)



書庫利用をすすめます

梅山 いつき

田原総一郎、西部邁と『愛国心』を出版するに至った、姜尚中出演のあるNHK番組を見た。著名人が本を推薦するもので、姜氏は夏目漱石の『三四郎』を推薦した。司会を務めていた重松清の一言「おとなになると なやむことすらやめてしまう」が印象深かったが、重松氏が姜氏推薦の『三四郎』を引用し、語ったこととは、三四郎のように膨大な時間を悩みに費やすのは、年を重ね、要領を得始めるにつれ、「まあいいか」という心理とともに消滅してしまうということであろう。書店や図書館で偶然手にとった本が、後々まで印象を強く残すことはめったにない。そもそも大半の人にとって偶然の出会いを期待して書架の間を彷徨うことはめったにないかもしれないし、目当ての書籍を求めて書店や図書館を利用することはあっても、偶然を期待して足を運ぶ人はそう

いないにちがいない。番組で推薦されていた本は、皆文学全集に収められていそうなものだった。思うに、それらは書架を彷徨い、偶然手にとることなしには読まないものではないか。そう言うと語弊があるかもしれないが、偶然だからこそ後々まで心に焼きつくのだとも思う。要領のよさを捨て、三四郎のように時間を悩みに費やした結果、一冊の本という思考の体系と出会う。私も番組に習って、地下深く書庫にてこれを実行し、思考を掘り下げることが薦めさせていただきたい。ナショナリズムの煽りを受けた某書の軽さを前にして、ぜひとも薦めたいことである。

(うめやま・いつき G類表現コミュニケーション科4年)

お役立ち情報



海外からの文献取寄せについて - GIF (グローバルILLフレームワーク) のご紹介 -

ネットワーク環境のひろがりとともに地球規模での情報流通が可能になり、大学図書館は国内だけでなく海外の図書館等とも相互に協力しあうことが必要になってきています。東京学芸大学附属図書館でも、国内にない文献は海外へ依頼(注)しています。主な依頼先は英国図書館ですが、昨年度からはGIFプロジェクトによって北米の図書館との相互協力もはじまりました。

GIFは大学図書館が海外とのILL/DD (Interlibrary Loan = 図書館間相互貸借 / Document Delivery = 文献提供)を実現するための仕組みです。国立大学図書館協議会に設置された国際学術コミュニケーション特別委員会が国立情報学研究所等と協力して進めて

います。現在、北米33機関(34図書館)との間で文献複写サービスが行われており、平成15年8月1日からは現物貸借も始まりました。今後、北米以外の地域へもGIFのネットワークは広がってゆく見込みです。

東京学芸大学附属図書館では試行段階からGIFに参加していますが、従来入手の難しかった北米の文献が比較的容易に手に入るようになり、英国図書館と並んで国際ILL/DDの二本柱になっています。

注：海外への依頼は校費によるものに限らせていただいています。

問い合わせ先：相互利用係（内線7224）

お知らせコーナー

ホームページから各種申込みサービスが利用できます！

図書館のホームページから、図書の予約、図書購入、文献複写・図書借受の申込みができるようになりました。

●図書の予約

学芸大OPAC (オンライン目録: Online Public Access Catalog) から図書の予約ができます。利用には、情報処理センターのユーザ名とパスワードが必要です。到着時このアドレスへご連絡します。

OPACを検索して「貸出中」となっている図書は、そのまま画面上で予約することができます。学外のパソコンからも可能です。

また、「本人利用状況」画面では、現在ご自分が借りている図書や返却期限、予約中の図書の状況などが確認できます。予約が不要になった場合の予約解除も、この画面でできます。

問い合わせ先：閲覧係（内線7225）

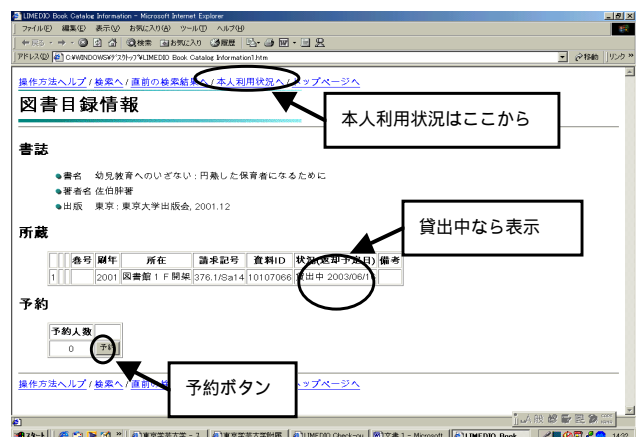


図 OPAC 検索結果画面

●図書購入依頼、文献複写依頼・図書借受依頼

このサービスは、東京学芸大学に所属する教職員が校費による申込みを行う場合に利用できます。

1. 認証 (本人確認画面)

http://library.u-gakugei.ac.jp/ から「各種申し込みサービス」をクリックすると図1の画面が現れます。そこで「図書購入依頼」、「文献複写依頼」あるいは「図書貸借依頼」を選べると、いずれも認証(本人確認)画面(図2)が表示されます。情報処理センター発行のユーザ名とパスワードを入力して依頼画面に進みます。(ユーザ名とパスワードをお持ちでない方は情報処理センターで発行を受けた後、図書館へご連絡ください。)

2. 図書購入依頼

「各種申し込みサービス」画面で「図書購入依頼」を選びます。図4の画面が現れたら、必要事項を入力してください。書誌情報はもちろん、予算単位、予算区分等も正確にお願いします(なるべく1件1冊の単位で)。科研費による購入依頼も可能です。その際はメモ欄に課題番号を忘れずに入力してください。

3. 文献複写依頼・図書借受依頼

「各種申し込みサービス」画面で「文献複写依頼」または「図書借受依頼」を選び、必要事項を正確に入力してください。到着した文献は学内便でお届けします。

問い合わせ先：収書係(内線 7220)
相互利用係(内線 7224)

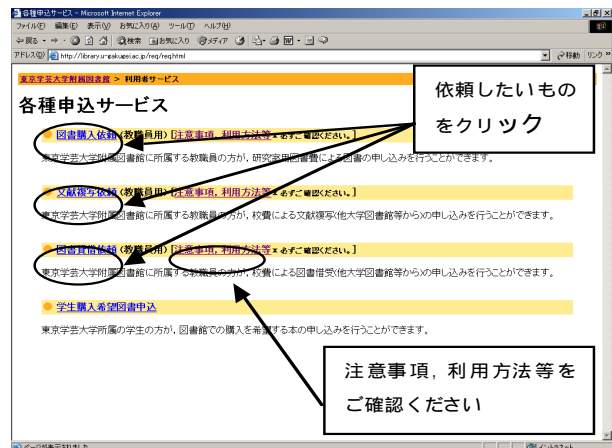


図1 「各種申し込みサービス」画面

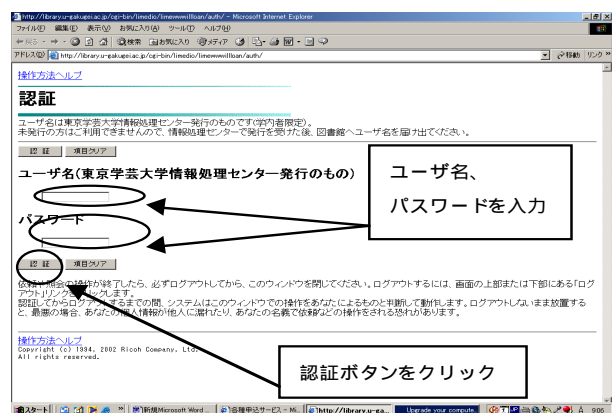


図2 「認証(本人確認)」画面

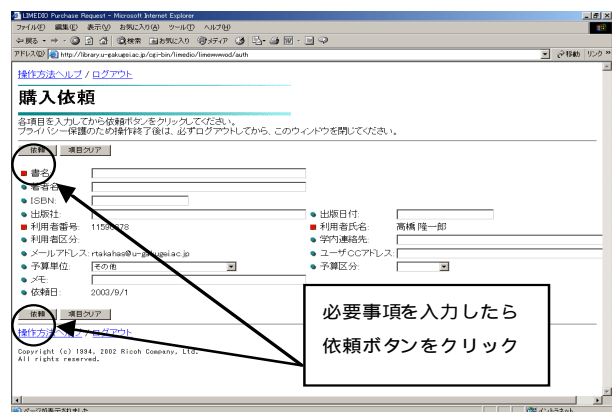


図3 「購入依頼」画面

JSTOR を導入しました!

JSTOR は、文学・歴史・教育・政治・経済・社会・数学・統計分野等の洋雑誌 117 タイトルを、創刊号から 2 ~ 5 年前の分までフルテキストで収録している電子ジャーナルです。

附属図書館ホームページからアクセスできます。ぜひご利用ください!!

JSTOR についての詳しい情報は、

附属図書館ホームページ(<http://library.u-gakugei.ac.jp/notice/20030825.html>)に掲載しています。

平成15年度基本的学術図書購入決定リスト

平成15年度に購入する基本的学術図書が決定しましたのでお知らせします。
基本的学術図書は、本学の教育・研究上基本的に必要な資料として附属図書館委員会によって選定され、今年度は次の図書等を購入します。順次図書館に収蔵されますので、ご活用ください。

1. Environmentalism (Critical concepts in the environment and physical geography) 5 volumes
2. Corpus Christianorum (Series Latina /Continuatio Mediaevalis) 34titles
3. Nuclear Weapons, Arms Control, and the Threat of Weapons of Mass Destruction 8 th Supplement 1996-2001
＜核兵器・軍備管理・核戦争の脅威＞特別調査報告集（マイクロフィッシュ）
4. Hormones, Brain and Behavior 5 vols.
5. Glossarium Artis. Wörterbuch zur kunst/Dictionnaire des termes des arts/Dictionary of art. 10Bde.
6. History of education 15th-20th century Unit 6 . Nos.6876-7500（マイクロフィッシュ）
7. Benz, Wolfgang (Hrsg.) Die " Judenfrage ". Schriften zur Begründung des modernen Antisemitismus 1780 bis 1918
（ヴォルフガング・ベンツ監修 『ユダヤ人問題』 近代反セム主義の成立に関する史料 1780 ~ 1918）
（マイクロフィッシュ）
8. 明清民間宗教経巻文献 初編 全12巻
9. 環境問題資料集成 全14巻+別冊索引
10. 京都市・府社会調査報告書[]（日本近代都市社会調査資料集成4）全53巻
11. 編集復刻版 性と生殖の人権問題 資料集成 1875 - 1953 性科学・性教育編 第27巻～35巻
12. 臨床精神医学講座 special issue 1～3, 5～12巻
13. 韓日外交未刊極秘史料叢書 全50巻+解題・目録

平成15年度附属図書館委員会名簿

平成15年度 附属図書館委員会名簿

所属	所属学科	氏名	職名	任期
図書館	図書館長	高鷲 忠美	館長	15～16 在任中
第一部	地域研究学科	岩田 重則	助教授	14.4.1～16.3.31
	社会科学学科	都留 康子	助教授	15.4.1～17.3.31
第二部	保健管理センター	大西 建	助教授	14.4.1～16.3.31
	障害児教育学科	國分 充	教授	15.4.1～17.3.31
第三部	理科教育学科	下條 隆嗣	教授	14.4.1～16.3.31
	数学・情報科学学科	溝口 紀子	助教授	15.4.1～17.3.31
第四部	美術学科	秋山 聰	助教授	14.4.1～16.3.31
	技術科学学科	坂口 謙一	助教授	15.4.1～17.3.31
図書館学関係	教育学科	山口 源治郎	教授	15.4.1～17.3.31

近隣4国立大学の図書館に学生証で入館できます！



前号でお知らせしました東京外国語大学・東京農工大学・電気通信大学に加え、10月1日から一橋大学も学生証で附属図書館が利用できるようになりました。

図書館のサービス紹介

今回は、附属図書館3階の係についてご紹介します。

総務係の紹介

図書館に送られてくる公文書等文書の受付から発送、図書館の中を飛び交う書類の交通整理。図書館という大きな建物やその中にある備品類の管理、修繕。それに伴う契約業務。

総務係の仕事はちょっとわかりにくいかもしれませんが、庶務的な仕事、会計的な仕事、施設整備的な仕事等、多岐にわたる業務を3人でこなしています。直接図書館の利用者に対するサービス業務ではありませんが、図書館を支える大事な仕事だと思っています。この他にも、各種委員会の連絡や準備、東京学芸大学研究紀要の出版に関する業務も行っています。

収書係の紹介

収書係では、図書館に配架されるまでの一連の流れの作業を執り行っています。具体的には、図書や雑誌などの発注、契約から始まり、受入、分類、目録、装備、支払いなどまでを行っています。確かに皆様と直接触れ合うということはありませんが、このような一連の作業を行うことによって図書館の蔵書が出来上がっていくわけですので、結局のところ私たちの仕事は、閲覧やレファレンスなど各種図書館サービスの土台を作り上げているということになります。その意味では、図書館業務の中ではまさに中核的な役割を担っているところだと言えるでしょう。少しでも早く皆様の利用に供せられるよう心掛けて日々業務に励んでおります。

目録情報係の紹介

目録情報係は、情報の組織化(データベース化)、E-TOPIA(教育系電子情報ナビゲーションシステム)の形成、ホームページの管理、メールニュースの発行、図書館システムの運用などを主な業務としています。

情報の組織化については、OPAC未入力図書の遡及入力、学芸大コレクションの一つである教科書の目録入力、学内紀要や学位論文情報のデータベース登録等があります。また、電子形態の情報に関しても、電子ジャーナルリストのメンテナンス、デジタル映像情報検索・閲覧システムへの映像データの登録、Web上に存在する教育実践情報等のメタデータ作成等を行っています。

以上の各種データは、図書館ホームページのOPACや教育総合データベース等から検索することができます。ぜひご活用ください。



平成 15 年度後期図書館暦

○ 9:00 ~ 22:00 9:00 ~ 17:00 10:30 ~ 16:30 短縮開館 9:00 ~ 13:00 休館

平成 15 年度後期から、月末の水曜日も開館します。

10 月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11 日 全学停電 17 日 教育実習終了
13 日 体育の日 18 日 全学停電予定日
20 日 後期授業開始

11 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

3 日 文化の日
23 日 勤労感謝の日
24 日 振替休日

12 月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

23 日 天皇誕生日
24 日 授業終了
27 日 ~ 31 日 年末休館

1 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1 日 元旦 12 日 成人の日
1 ~ 4 日 年始休館 16 日 センター試験準備
5 日 授業再開 17 ~ 18 日 センター試験

2 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29						

10 日 後期授業終了 24 日 短縮開館:前期試験準備
11 日 建国記念の日 25 日 東京学芸大学入試(前期)
16 日 ~ 27 日 教育実習 27 日 延長開館終了

3 月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11 日 短縮開館:後期試験準備
12 日 東京学芸大学入試(後期)
20 日 春分の日

* 臨時休館日については、ホームページ、館内の掲示でお知らせします。